

# 化学物質等安全データシート(MSDS)

整理番号 : OT32641-1

## 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 : 水性ニス マホガニー  
種類 : アクリルエマルション樹脂塗料  
製造会社 :  
会社名 : サンデーペイント株式会社  
住所 : 〒554-0012 大阪市此花区西九条6丁目1番124号  
担当部門 : お客様相談室長  
電話番号 : 06-6466-6700  
FAX番号 : 06-6466-2751  
用途 : 木部用塗料、その他  
作成日 : 2007年11月13日  
改訂日 : 2011年10月24日

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

#### 物理化学的危険性

火薬類 : 分類できない  
可燃性／引火性ガス : 分類対象外  
可燃性／引火性エアゾール : 分類対象外  
支燃性／酸化性ガス : 分類対象外  
高压ガス : 分類対象外  
引火性液体 : 区分外  
可燃性固体 : 分類対象外  
自己反応性化学品 : 分類できない  
自然発火性液体 : 分類できない  
自然発火性固体 : 分類対象外  
自然発燃性化学品 : 分類できない  
水反応可燃性化学品 : 分類できない  
酸化性液体 : 分類できない  
酸化性固体 : 分類対象外  
有機過酸化物 : 分類できない  
金属腐食性物質 : 分類できない

#### 健康に対する有害性

急性毒性—経口 : 区分外  
急性毒性—経皮 : 区分外  
急性毒性—吸入(気体) : 分類対象外  
急性毒性—吸入(蒸気) : 区分外  
急性毒性—吸入(粉塵／ミスト) : 区分外  
皮膚腐食性／刺激性 : 区分外  
眼に対する重篤な損傷性／刺激性 : 区分外  
呼吸器感作性 : 区分外  
皮膚感作性 : 区分外  
生殖細胞変異原性 : 区分外  
発がん性 : 区分2  
生殖毒性 : 区分外  
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露) : 分類できない  
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露) : 分類できない  
呼吸性呼吸器有害性 : 分類できない

#### 環境に対する有害性

水性環境急性有害性 : 区分外  
水性環境慢性有害性 : 区分外

### GHSラベル要素

#### 絵表示またはシンボル



#### 注意喚起語

予防

## 危険有害性情報

- 発がんのおそれの疑い。

## 注意書き

### 安全対策

- 使用前に取扱い説明書を入手する。
- 取扱い前に全ての安全注意を読み理解する。
- 必要な個人用保護具を着用する。

### 応急措置

- 暴露または暴露の懸念がある場合は医師の診断、手当を受ける

### 保管

- 施錠して保管する

### 廃棄

- 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質／混合物の区分	: 混合物
化学名または一般名	: 情報なし
化学特性(化学式等)	: 情報なし
毒物及び劇物取締法	: 該当せず
成分	:

成分名	CAS No.	含有量(%)	安衛法 通知物質	毒劇 法	PRTR法・備考
カーボンブラック	1333-86-4	0.1~1.0	○	—	

## 4. 応急措置

### 一般的な措置

- 気分が悪い時には、医師の診断、手当てを受ける。
- 暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断、手当てを受ける。

### 吸入した場合

- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時には、医師に連絡すること。

### 皮膚に付着した場合

- 付着物を乾いた布にて素早く拭き取る。
- 皮膚(または毛)にかかった場合は、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ捨て流水、シャワーで洗う。
- 多量の水と石鹸で洗う。

### 眼に入った場合

- 直ちに、大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
まぶたの裏まで完全に洗うこと。

### 飲み込んだ場合

- 口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。
- 飲み込んだ場合、直ちに医師の診察を受け、医師にその容器またはラベルを見せる。

## 5. 火災時の措置

消火剤 : この製品自体は燃焼しない。

使ってはならない消火剤 : —

特有の消火方法、消火を行うものの保護

- 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど)を着用する。
- こぼれた場所は滑りやすいため中止する。

### 環境に対する注意事項

- 河川の排出等により、環境への影響を起ささないように注意する。
- 下水、排水中に流してはならない。

### 封じ込め及び浄化の方法／機材

- 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
- 多量に流出した場合、盛土で困ってのち処理する。
- 掃き集めて、容器に回収する。
- 回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。
- 回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

(取扱者の暴露防止)

- 必要な個人用保護具を使用する。

#### 注意事項

- 皮膚に触れないようにする。
- 眼に入らないようにする。

#### 配合禁忌等、安全な保管条件

##### 適切な保管条件

- 容器を密閉する。
- 涼しい所に置く。日光を避ける。

##### 避けるべき保管条件

- 日光から遮断する。50°Cを超える温度に暴露してはならない。

### 8. 暴露防止及び保護措置

#### 設備対策

- 洗眼設備を設ける。
- 手洗い、洗顔設備を設ける。

#### 保護具

##### 呼吸器の保護具

- 換気が十分でない場合は、呼吸用保護具を着用する。

##### 手の保護具

- 保護手袋を着用する。

##### 目の保護具

- 保護眼鏡、顔面保護具を着用する。

##### 皮膚及び身体の保護具

- 顔面保護具を着用する。
- 保護衣を着用する。

##### その他

- 取扱い後はよく手を洗う。

### 9. 物理的及び化学的性質

#### 外観

物理的状態(20°C)	: 液体
色	: 赤色
臭い	: 無臭
pH	: 弱アルカリ性
融点/凝固点	: 情報なし
沸点、初留点、沸騰範囲	: 100 °C
引火点	: — °C
自然発火温度(発火点)	: 情報なし °C
燃焼性(固体・ガス)	: 情報なし
燃焼または爆発範囲の上限/下限	: 0.0 / 0 vol %
蒸気圧 Pa (°C)	: 情報なし
蒸気密度	: 情報なし
蒸気速度	: 情報なし
比重(相対密度)	: 1.05 ±0.05
溶解度	
水に対する溶解度	: 情報なし
水に対する溶解性	: 情報なし
溶媒に対する溶解度	: 情報なし
溶媒に対する溶解性	: 情報なし
オクタノール/水分配係数	: 該当なし
分解温度	: 情報なし

### 10. 安定性および反応性

#### 化学的安定性

- 安定である。危険な分解反応、重合暴走反応は生じない。

### 11. 有害性情報

#### 急性毒性

カーボンブラック	: LD50 (経口)	ラット	=15400mg/kg(4h)
	: LD50 (経皮)	—	—
	: LC50 (蒸気)	—	—
	: LC50 (粉塵/ミスト)	—	—

#### 発がん性

カーボンブラック	: 区分2
----------	-------

#### 特定標的臓器/全身毒性—反復暴露

**12. 環境影響情報****避けるべき条件**

- 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。  
特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

**水生環境有害性（慢性毒性）****13. 廃棄上の注意****残余廃棄物**

- 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。
- 塗料製品、廃材料および焼却灰などの一部は、特別管理産業廃棄物の「特定有害産業廃棄物」に該当する法律および関係する法規に準じて行うこと。
- 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律に従って処理を行うか、委託をすること。

**汚染容器および包装**

- 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

**14. 輸送上の注意**

- 容器にもれのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
- 取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

**国連番号**

： —

**陸上輸送**

- 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

**海上輸送**

- 船舶安全法に定めるところに従うこと。

**航空輸送**

- 航空法に定めるところに従うこと。

**指針番号**

： —

**15. 適用法令****消防法**

- —

**労働安全衛生法**

- 57条の2 通知対象物質

**高圧ガス取締法**

- —

**船舶安全法**

- —

**航空法**

- —

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

- —

**化学物質管理促進法**

- —

**16. その他の情報****引用文献**

- 日本塗料工業会編集 『原料物質データベース』
- 日本塗料工業会編集 ：製品安全データシート・ガイドブック（混合物用）
- オーム社 ：溶剤ポケットブック
- 危険物防災救急便覧
- 国際化学物質安全カード（ICSC）

**その他**

- このMSDSは、当社の製品を適正にご使用戴くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の実施を前提としたものです。
- 記載内容は現時点で入手した資料、情報データに基づき作成しておりますが、危険、有害性に関する評価は必ずしも十分なものではありませんので、取扱いには十分注意してください。
- このMSDSは、法令の改正、新しい知見により予告なく改訂することがあります。
- このMSDSは、国の規制を含む(社)日本塗料工業会の基準に基づくものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれていませんので、当該自治体の規制に従って対処してください。
- 危険有害成分の濃度(%)表示の幅記載は「以上～未満」を示しています。
- PRTR該当物質については1、2種は1%以上、特定1種は0.1%以上の場合に対象となります。

- 2種については国(事業所管大臣)への報告は不要です。
- 2009年度の報告は旧政令番号での報告となります。
- PRTR政令番号は新政令番号にて記載しております。